



広報 なかわだ

第420号

2015年3月1日

2015年3月

中和田カトリック教会
広報委員会

泉区中田北1丁目9-1 Tel. (045) 803-6141
<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

一緒に進んでいきましょう

教会委員長 岩 渕 英 介

「しまったな!!」と思ったときは既に遅く、委員長をお引き受けするか、ルールを無視してお断りするかの岐路に立たされてしまいました。新しいルール作りを推進してきた立場上、結果には従うしかないと思腹をくくるまで10秒間ほどかかりました。一月の委員会の席上でのことです。委員はどんどん交代していこうと言いつけてきた私が再び委員長になることに違和感をお感じになられた方もいらっしゃると思いますが、委員長が決まらないような事態を避けるためにルールを色々工夫してきたつもりが、自分に降りかかってくるとは正直思っていませんでした。

まあしかし、お引き受けした以上は、次の点を意識しながら二年間、精一杯やらせて頂きたいと思っています。一つはマンネリ化に陥らずフレッシュな気持ちを持ち続けていきたいということです。二つ目は皆様の御意見を十分に吸い上げ、反映させていきたいということです。後者は当たり前のようで意外に難しいことをこれまで痛感してきました。その方策の一つとして、今回新たに女性副委員長が設けられました。この教会の活動の主役でもある女性の方々の御意見を十分に活かしていきたいというのが狙いです。将来教会の建物をどうしていくか、高齢化の波にどう対応していくか等々、難しい課題も多い中、私の役割は大きな方向付けをしながら、二年後の女性委員長(を期待しています)にバトンタッチすることだと思っています。



信仰で結ばれた私達が、豊かなお恵みにより、共に進んでいくことが出来ますように。

教会ごよみ (三月)

日	曜	典礼(ミサ)	備 考	その他
1	日	主日ミサ(9:00)	四旬節第二主日 ミサ後聖週間リハーサル	
6	金	初金ミサ(9:30)	十字架の道行3(9:00)	
8	日	主日ミサ(9:00)	四旬節第三主日	教会委員会
11	水			聖書の会(10時)
13	金	週日ミサ(9:30)	十字架の道行4(9:00)	
15	日	主日ミサ(9:00)	四旬節第四主日 ミサ前聖週間リハーサル	信徒の会
20	金		十字架の道行5(9:00)	
22	日	主日ミサ(9:00)	四旬節第五主日 萱場神父様黙想会	
27	金	週日ミサ(9:30)	十字架の道行6(9:00)	
29	日	主日ミサ(9:00)	受難の主日(枝の主日)	

～ 中和田の風 ～

大自然から教えられたこと

私は第二次大戦の最中に長野県の八ヶ岳のふもとの村に生まれました。父が傷痍軍人となり、家庭の複雑な事情から、私は小1の時親戚の養子となり育てられました。養家には実の祖母がおり、実母に甘えられない寂しい私をたいへん可愛がってくれました。

毎日のように私を大自然の中に連れ出し、春はつみ草、夏は虫取り、秋は木の実やきのこ取りと自然の中で遊ぶ楽しさを教えてくれました。祖母の子どもを愛情深く育む優しさは今も私が大切にしている生き方です。小学5年生の時、養父（叔父）にスイカの苗を一本もらい植えたところ、四方八方につるを伸ばし、大きな甘いスイカが12個も収穫できました。それ以来イチゴなど様々な作物を作るようになり、周囲の大人たちを驚かせ、近所に配り歩きました。

理科が好きで工業高校に入学して一年目、文化祭の準備をしていた私の左側頭部に野球の打球が直撃し三日三晩昏睡状態になったことがありました。一命はとりとめたものの、後遺症に悩まされ、成績は最下位、やっと卒業しました。その後東京に出て、私のことを非常に心配してくれていた実の姉のところに住まわせてもらい、あるメッキ工場に就職しましたが、有害物質との隣り合わせの仕事で、健康を害し、早々に退職しました。

姉の勧めで新聞配達をしながら大学に入ることを目指し、三年かけてようやく希望していた大学に入ることができました。時は東京オリンピックのあった高度経済成長の時代で、空気は汚染し、河川は汚濁し、ゴミは巷にあふれ、公害病は全国各地に広がっていました。『自然を顧みず公害を撒き散らす科学技術の進歩に人間の幸せはない』と考え、文化系を選びました。

振り返ってみると、私の困難な時に支えとなってくれた周囲の人たちの温かい愛と自然と一体になって遊んだ幼少の頃の原体験は、その後30年余り続けた障害児教育を選んだことや職場で出会ったカテキスタのシスターに導かれてカトリックの教会で受洗できたことに大きく結びついたと思います。感謝です。

子供の頃、自然の楽しさ豊かさ偉大さを体験する中で無意識の内に目に見えないものへの畏敬を感じていたのかもしれませんが。最近子供が外で遊んでいる姿をあまり見かけなくなりましたが、子ども達を外に連れ出し、神様の創造された豊かな自然や自然と結びついている昔の遊びなどの楽しさを伝えたいです。最近、近隣の仲間と一緒に「湧水を守る会」を作りました。今は荒れていますが、水辺の生き物が戻り、子供たちが自然と遊べるための環境作りを始めています。(滝川清一)



イタリア巡礼記

大決心をして初の海外の旅へ神父様、中島様夫妻と去年12月1日イタリアへ同行しました。

ローマからアシジそしてフローレンスの大聖堂、ヴァチカン美術館、カタコンベ等、バス、地下鉄、高速バス、列車を使っでの移動。神父様は大変お元気に私たちの先頭に立ち、色々説明しながら毎日案内して下さいました。12月3日水曜日は教皇様に謁見する日で私たちは手続きを済ませ、サンピエトロ広場へ向かいました。会場の前の席はイス席で私たちもイス席に着きましたが、パパ様の顔が見られるのだろうか？とドキドキしながら待っておりました。この日は生憎の天候で風と雨が時々降ってくるので大勢の人々は傘をさしていますし、キョロキョロしながら落ち着きませんでした。ふと歓声があがり、白い車に乗った教皇様を大きな画面で見ることが出来ました。私たちの最短距離まで近づかれた時は、思わず座っていたイスの上にとび上り、お優しく微笑みを浮かべ祝福を与えながら通り過ぎてゆくパパ様に声援を送りました。この日のことは一番のお恵みでした。

とても有意義な旅でした。神父様、中島様、ありがとうございました。神に感謝。

(大原幸恵)



退任のご挨拶

私は10歳で受洗しました。以来73歳になる現在まで、教会には精神的なものは言うに及ばず色々な側面でお世話になってきました。そのようなことから、(古い言い方ですが)何か恩返し出来ないかと思い4年前に委員長をお引受けしました。

この4年間を総体的に振り返ってみますと、神父様方と全ての信徒の皆様のご指導とご協力のお蔭で、曲がりなりにも任務を果たせたのではないかと考えております。とりわけ委員会各グループの皆様には教えられながら共に進むことが出来たことに深く感謝しています。

順序が逆になりましたが、昨年は夏期に予期せぬ病気治療の為に約1ヶ月間委員長職を果たせず皆様にご迷惑をお掛けいたしました。とくにこの間には神父様のご移動があり、極めて多忙な時でありました。重ねてお詫び申し上げます。

最後に、どのような組織でも人間関係が大切だとはよく言われることであります。3年前にある方の葬儀の際にみえた葬儀屋さんが、「大変雰囲気の良い教会です」という感想をポツリと漏らしました。この雰囲気は私達の共同体に構築されている、信仰を基盤とした温かい人間関係が醸し出したものだと思います。この状態を長く継続していきたいものです。(前教会委員長 上野厚)

第34回典礼研修会「入信の秘跡を生きる～堅信に焦点を当てて～」

2月11日(水)第34回典礼研修会「入信の秘跡を生きる～堅信に焦点を当てて～」に参加しました。中和田教会からは12名の参加がありました。以下講話の内容を抜粋します。

午前中の講話は前半、久我神父様による「成人の入信の秘跡」のお話でした。様々な動機を持って教会に来られた成人の方がミサに参加したり、入門講座や聖書を学ぶ会などに参加するようになった時、教会共同体の受け入れる心がまえについてお話になりました。本当の人生を歩みたいと思って教会を訪れた方がそのままの状態を受け入れられ大切にされる場所であると感じられることが大切であることを強調されました。それにはまず共同体の私たち一人一人が神に心の弱み、痛みを開いて聖霊の働きで癒されてこそ来られた方々にも聖霊が働き安心して心を開き私たちと共に神の愛にふれ成長していくことができるとのことでした。

午前後半はカンペンハウド神父様のお話でした。神父様は1950年に叙階されたそうですが、大きなお声で情熱的に信仰の喜びが大切なことを語ってくださいました。宣教する大人自らが「神の子イエス・キリストの友」となりイエス・キリストと共に御父から愛されている喜び、あふれる喜びを伝える以外に宣教はないとのことでした。その喜びは必ず周りに伝わるときっぱり仰いました。

午後は横浜教区典礼委員会で出版された堅信への旅(中高生用)とリーダー用の手引きについてご尽力された青木利道氏によるお話があり当教会も宣教グループで活用するとのことでした。

その後、市岡神父様司式によるミサに参加しました。説教の中でご自分も含め信徒一人一人の毎日が信仰を固める堅信の旅であると力強くお話しになり深く心に響きました。(今井暁子)

「第24回聖歌の集い」についてのお知らせ

記

今年も聖歌の集いの練習が始まりました。

聖歌の集いとは、神への感謝とカトリック信徒相互の繋がりを強め、お互いの教会を知り合うという目的で聖歌隊の方や聖歌の好きな方が集まり毎年5月下旬にミサと親睦会を行います。

今年のミサ曲は、モーツァルトK 192 ミサプレヴィス へ長調(小クレドミサ)です。このミサ曲は、二俣川教会で2年をかけて練習中で、二俣川教会聖歌隊に全面的に協力していただき練習していくそうです。

- ・日時: 2015年5月31日(日) 13:00～17:00
- ・場所: カトリック保土ヶ谷教会
- ・練習: 各カトリック教会聖堂にて
 - 3月 1日(日) 二俣川教会 14:00～17:00
 - 4月 12日(日) 中和田教会 14:00～17:00
 - 4月 26日(日) 山手教会 14:00～17:00
 - 5月 10日(日) 戸塚教会 14:00～17:00
 - 5月 24日(日) 保土ヶ谷教会 14:00～17:00
- ・参加申し込み 聖歌の集い連絡担当 大宮絢子まで

委員会だより

(文中敬称略)

△2月8日(日) 12名出席▽

■日野神父様のお話

・新しい委員の皆さん、これから2年間よろしく願います。
・今迄の委員さん、ありがとうございます。
・物置の設置や、2階改修をしてくださり、ありがとうございます。
・これを積極的に考えていこうと思います。
・施設におられる方や在宅の方のことを把握していないので、何かありましたらお知らせ願います。
■各グループからの報告・新年度に向けた方針

●副委員長(岩崎)

・2年間よろしく願います。

●典礼(小野)

・聖週間関連について

・大人の侍者が不足しているので、ご協力をお願いしたい。リハーサルを2回予定しています。

・イースターエッグの準備を行事の方にお願います。ご復活のポスターがリリースされているので、入口の掲示板に掲示したらどうか？
↓掲示することになった。

・黙想会・ゆるしの秘跡

・3月22日(日)に萱場神父様をお迎えして行う。黙想会の後、昼食会を行う。神父様の御言葉を色紙に書いていただく。

・2月11日の典礼研修会は、中和田教会からは、11名参加の予定。

・2月22日に横浜教区合同入信志願式が行われます。当日のお手伝い

の要請がきている。

・「日本におけるミサ中の聖体拝領の方法に関する指針」が出ているので、これから周知していく。

●財務(甲斐)

・活動費として、福祉グループ3万円と要理学校5万円を用意する。

●宣教(岩崎)

・本日、湘南キリスト教セミナーの実行委員会が中和田教会で行われる。

●要理(本庄)

・初聖体は2名対象者がいる。
・第3(日)が親の会、第4(日)が要理学校(神父様のお話)で、今月は2月22日(日)に行う。

●福祉(楠田)

・1月分として、お米、梅干し、婦人用のコートなどを戸塚教会に送った。毛糸の帽子を編む準備をしている。今年度から1年間、委員会に2名出席する。

●建物を考える会・営繕(五十嵐)

・5月24日に、庭の枝の剪定をする予定。

・聖堂のエアコン、屋根の修繕について検討する時期にきている。

●広報(武田)

・今年も、月1回の広報を出す。原稿依頼(締切2月18日)

●総務(上野)

・神父様の休暇は、3月16日～3月24日迄。

・第5地区共同宣教司牧委員会は、2月15日(日) 15時から大船教会。

●行事(井上)

・復活祭の準備を開始。
・卵は、武田さんに依頼した。

■報告事項・その他

・スケジュール確認(3月)

・月修資料が配布され、説明された。
・神父様同伴の3月巡礼についての対応。(今回、募集はしない)

・留守番葬儀などの対応を検討する。
・神父様の図書室の整備について

・今ある教材を、別室に移して整理する。

■討議事項

・飯野神父様金祝祝い(3月14日(土)磯子教会)は、委員長が出席。

・信徒大会の課題については、各グループで検討していただく。

・バザー委員会の発足について
・委員会とは別組織にして、立ち上げる。6月頃に、園芸と夏物衣料のミニバザーを開催する。

・教会建物の将来を考える会の発足について

・今迄、営繕でやってきたが、教会建物の将来(5年～20年)を見据えて、女性や若い方々の意見を取り入れ、資金等も含めて検討する会を発足する。

・神父様のベランダの件について
・神父様が、窓に物干し竿の可動式枠と階段を設置されたので、当分はベランダを作る必要はなくなった。安全に気を付けて、使用していただきたい。

■その他

・グルニエ神父様から、クリスマスと新年の祝いのカードが届いたの

で、復活祭に、皆で色紙を送ることになった。

以上

(次回委員会 3月8日)

宣教グループだより

この度の新しいグループ編成による、新しい体制での宣教グループが発足いたしました。メンバーは、要理学校担当の6名を含む総勢14名です。

主な活動分野は、①第5地区要理学校リーダー会、②湘南キリスト教セミ

ナー、③一粒会、④泉区民クリスマスなどへの担当者派遣の他、内部的には中高生会、要理学校などがあります。

今年はこれらに加えて、信徒のみなさを対象にした交流や信仰を深める場が作られたらと考えております。

グループ内では、各分野でのそれぞれの情報を全員で共有しながら、共に考え、共に関わる意識で進めていきたいと思っています。特に今年は「湘南キリスト教セミナー」が中和田教会を会場に実施されるということですので、担当者を中心にした協力体制を、信徒のみなさまのご協力もお願いしながら、しっかり作っていきたいと思っています。どうぞよろしく願います。

また、教会を支える若さと力となる中高生の方々の活躍を期待しながら、まずは彼らのよき「居場所」としての場をどうしたら作っていきけるかが課題です。

最後に、ご意見や助言などがありましたら、どうぞいつでもお寄せくださいますようお願いいたします。

(岩崎好愛)